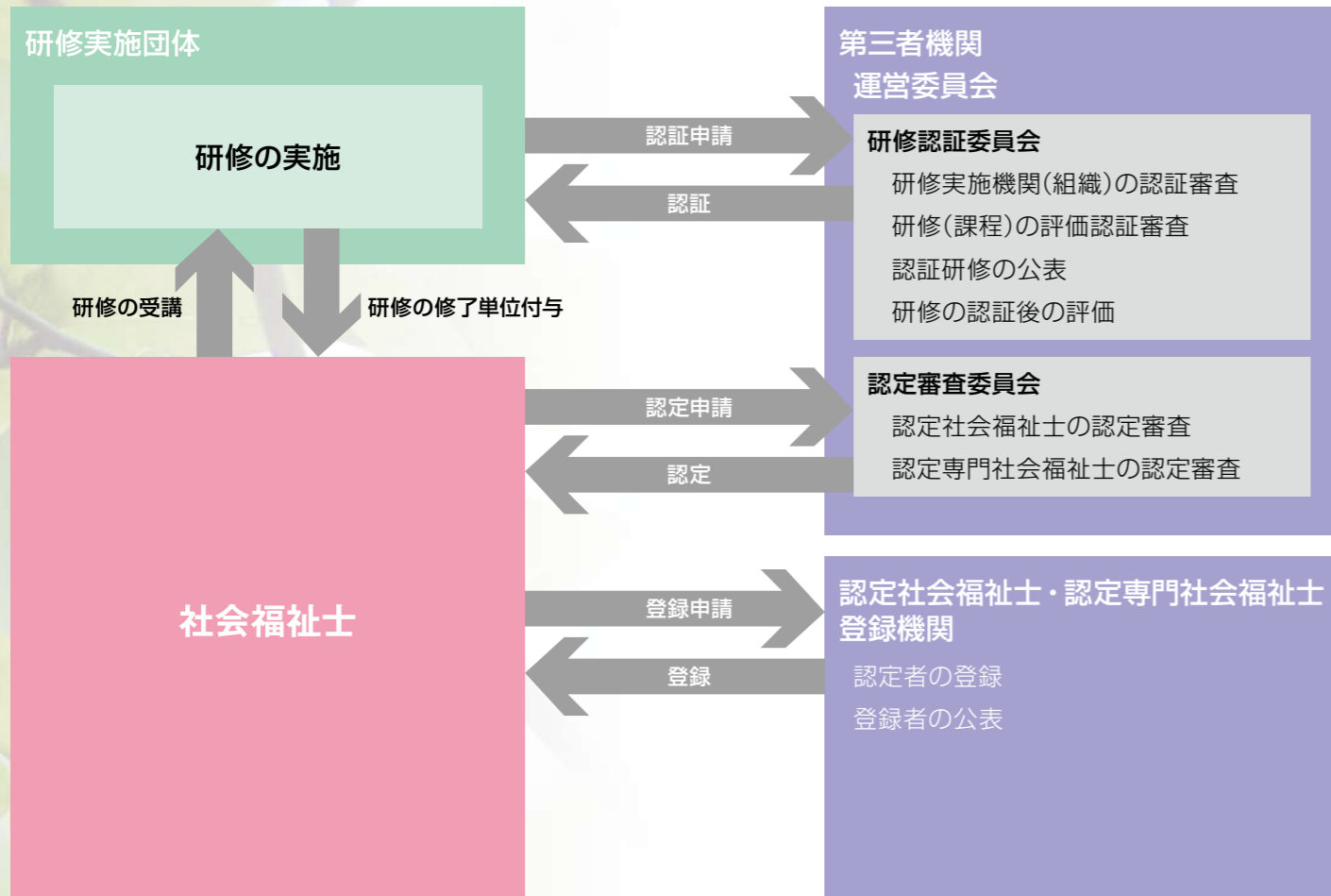


●認定制度のしくみ(イメージ)



# 社会福祉士の認定制度が、もうすぐ始まります。

確かな実践力を有する社会福祉士の「認定制度」について、2012年度の開始に向けて準備を進めています。

2007年の「社会福祉士及び介護福祉士法」の一部改正の際、「専門社会福祉士の仕組みについて、早急な検討を行う」ことが、参議院・衆議院において附帯決議されました。「認定制度」は、この決議をふまえて導入が検討されてきたものです。

今後設置される認証機関によって、社会福祉士の認定制度は開始・運営されます。

## 専門社会福祉士認定制度準備委員会

ホームページ: <http://www.jacsw.or.jp/nintei/>  
Eメール: [ninteicsw@jacsw.or.jp](mailto:ninteicsw@jacsw.or.jp)

専門社会福祉士認定制度準備委員会(事務局: 社団法人日本社会福祉士会)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-13 カタオカビル2階

TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543

関係団体内の調整機関として位置づけられた専門社会福祉士認定制度設立準備連絡協議会は、以下の団体から構成されています。

- 社会福祉法人全国社会福祉協議会
  - 社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国社会福祉施設経営者協議会
  - 社団法人日本医療社会事業協会
  - 社団法人日本社会福祉教育学校連盟
  - 社団法人日本社会福祉士会
  - 社団法人日本社会福祉士養成校協会
  - 社団法人日本精神保健福祉士協会
  - 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会
- (五十音順)

## 社会福祉士の「認定制度」とは、どのようなものですか？

社会福祉士の資格は、国家試験に合格し、登録を行うことによって付与されます。しかし、資格の取得はあくまでも“スタートライン”であり、試験の合格が実践力を証明しているわけではありません。

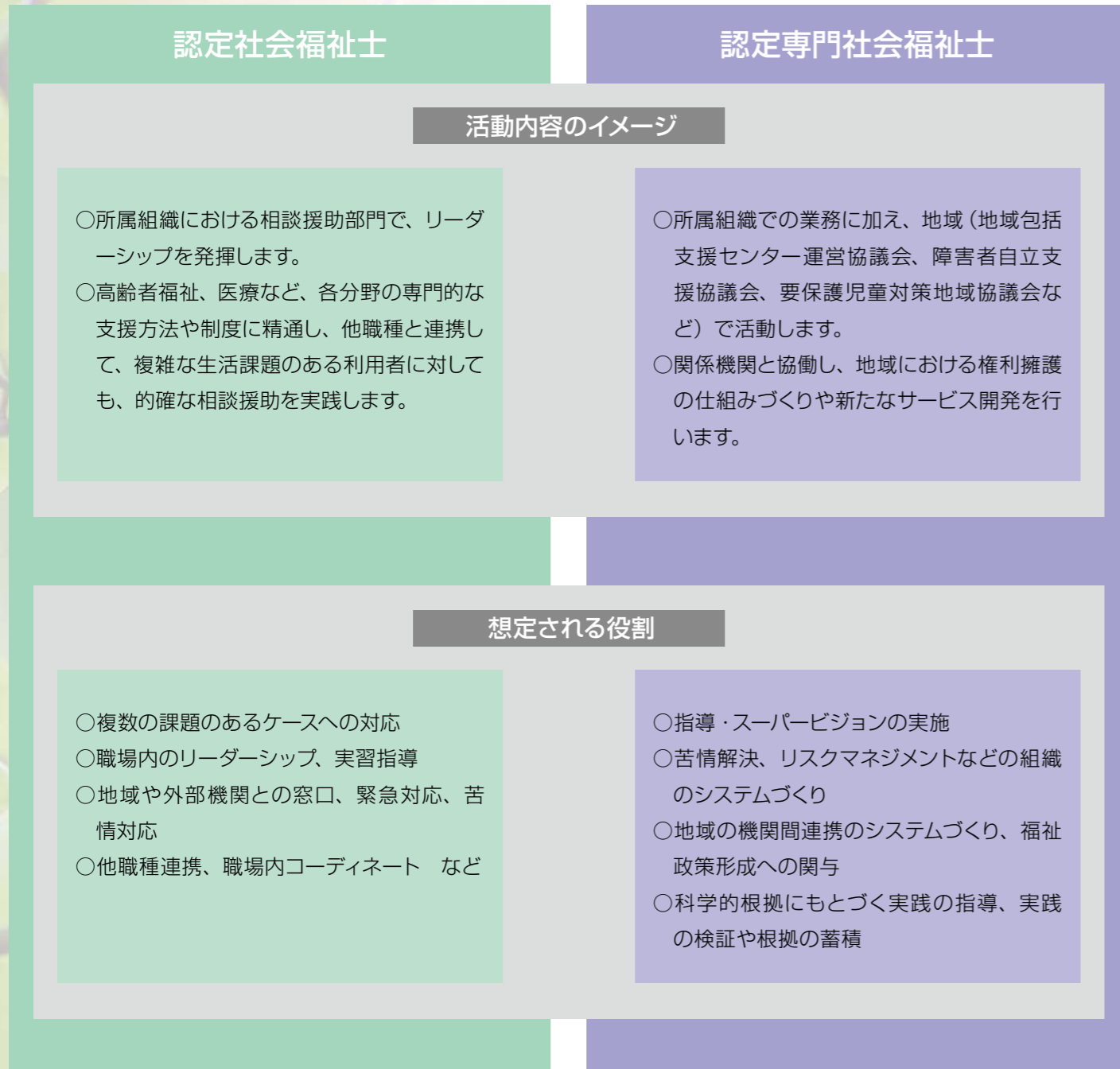
そこで、高度な知識と卓越した技術を用いて、個別支援や他職種との連携、地域福祉の増進を行う能力を有する社会福祉士のキャリアアップを支援する仕組みとして、「認定制度」が導入されることになりました。

新しい制度では、第三者機関によって「認定社会福祉士」「認定専門社会福祉士」が認定されることになります。

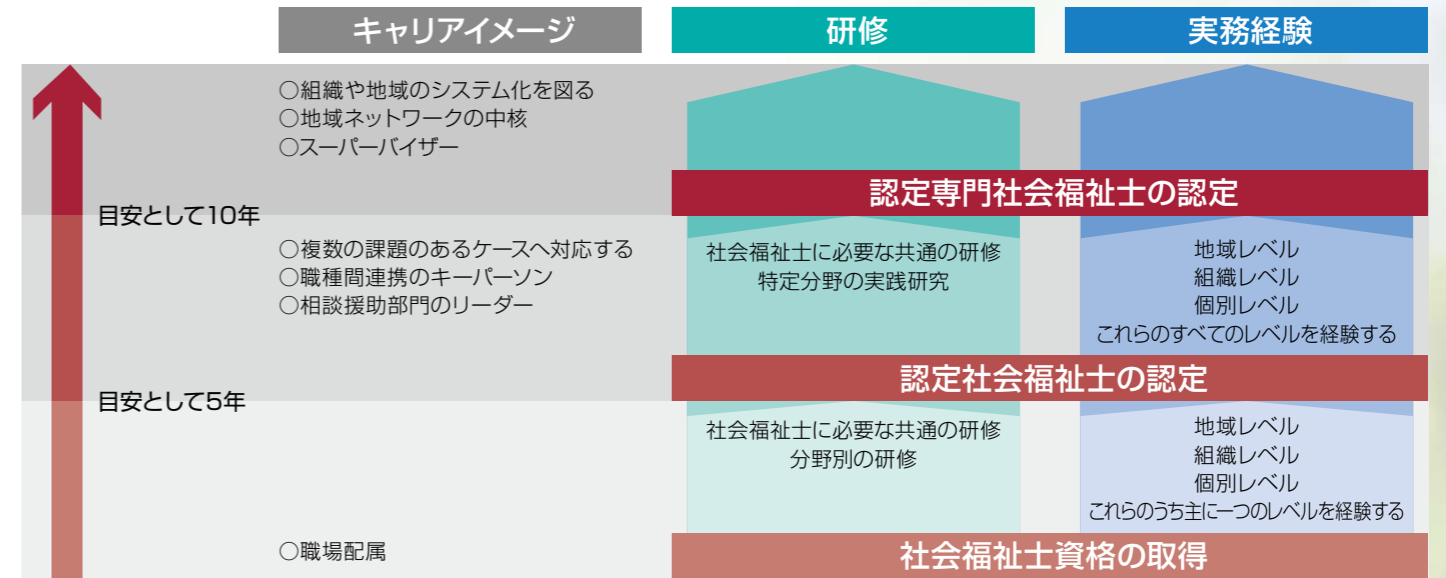
なお、「認定専門社会福祉士」の名称は継続して検討中であり、変更の可能性があります。

## 「認定社会福祉士」「認定専門社会福祉士」は、どのような役割を担うのですか？

「認定社会福祉士」「認定専門社会福祉士」には、次のような場面での活躍が期待されています。



## ●社会福祉士資格の取得から認定社会福祉士・認定専門社会福祉士へ～キャリア形成のイメージ～



## 「認定社会福祉士」「認定専門社会福祉士」の認定を受けるためには、どうすればよいのですか？

### 1 研修

指定を受けた団体の実施する研修を受講し、一定の単位を取得します。

#### 研修科目のイメージ

共通専門科目	分野専門科目
専門実務の科目群	高齢分野科目群
権利擁護の実務科目群	障害分野科目群
人材育成科目群	児童・家庭分野科目群
運営管理系科目群	医療分野科目群
地域福祉系科目群	地域社会・多文化科目群
実践研究系科目群	特定領域の実践研究と自己形成

### 2 スーパービジョン

スーパービジョンを実践し、所定の単位を取得します。

### 3 実務経験

「個別」「地域」「組織」の3領域について、それぞれに「経験目標」が定められます。それらの実務経験を積み、認証を受けます。

#### 「経験目標」のイメージ（個別レベルの例）

認定専門社会福祉士	認定社会福祉士
1-1	相談援助の開始にかかわる業務
1-2	理論・モデルにもとづくアセスメント
1-3	アセスメントにもとづく目標設定と計画立案
1-4	サービス調整会議・ケースカンファレンス等による検討及び調整並びにコーディネーション
1-5	計画にもとづく介入の実施とモニタリング
1-6	相談援助の終結にかかわる業務
1-7	上記1-1～1-6にかかわる業務に対する助言・指導 / スーパービジョン
1-8	困難事例・多問題事例への介入
1-9	アセスメントツール、計画表、契約書、記録フォームなどの開発・改善
1-10	特定の介入方法、アプローチについての評価
1-11	より効果的な介入方法・アプローチなどの開発・普及
1-12	個別レベルの課題をマクロレベルの課題へと位置づけてシステム変革